

大学院で成長し、実社会で活躍
自分らしいキャリアを大学院から



Ph.D. Program in Human Biology
University of Tsukuba



筑波大学ヒューマンバイオロジー学位プログラム・医学系専攻大学院教育企画評価室

共同企画・主催

学生参加型ワークショップ第2部

就職活動を始めてからではもう遅い？

～社会が学生に求める体験～

第2部

株式会社ユナイテッド・プラクシス 北島 大器 取締役

社会が求めるもの。これまで重視されてきた”資質”から、より明確な”体験”が求められています。しかし多くの学生はこの真実に直面していません。残念ながら就職活動を迎えて初めて気がつく不都合な真実があります。バイトやサークルに明け暮れて過ごし、就職してから頑張る。そういう時代は既に過去のもの、今や大学や大学院を通じてどのような体験をし自分を磨くことができるかが問われています。手遅れになる前に今から始めなければならないことがある。外資系企業で述べ数千人の学生を選考してきた経験をシェアし、その内容を基にディスカッションを行います。「研究室は決まったけれど」、「進学は決まったけれど」大学4年生として、大学院生として、どのようなことをするべきか、何を心がけるべきかが分からない。年代を超えた議論を通じ不安なことを明らかにし、明るい将来を描いていきましょう。

開催 情報

2012年11月9日(金)
第2部 18:00~19:00 (第1部は17時開演です)
筑波大学内医学群棟2階4A204
<http://www.md.tsukuba.ac.jp/basic-med/images/igakumap.jpg>

参加 方法

どなたでも参加頂けます！11月6日(火)までに
下記URLから参加登録を行ってください。
参加希望者多数の場合には、抽選とさせていただきます。

<https://www.research.net/s/CTVRSS9>

第1部

特別登壇者講演：動物アレルギー検査株式会社 代表取締役社長 増田健一氏

特別登壇者 増田健一氏 経歴

経歴
学位
1992年 鹿児島大学獣医学科卒業 獣医師
1997年 米国イリノイ大学大学院 修士課程修了 獣医学修士号取得
2003年 東京大学大学院 獣医学博士号取得
職歴
1992年—1995年 動物病院勤務
1999年 東京大学大学院 獣医内科学教室 助手
2004年 独立行政法人理化学研究所
免疫・アレルギー科学総合研究センター 研究員
2006年 米国ノースカロライナ州立大学 獣医学部 客員研究員 兼任
2007年 理研ベンチャー 動物アレルギー検査株式会社 設立
(代表取締役社長に就任)

概要

獣医師資格取得後、3年間の動物病院勤務経験から自分の知識不足を痛感し、米国イリノイ大学大学院獣医学部に留学をする。留学中は獣医レントゲン学を学び、また研究の基礎を身につける。卒業後には東京大学大学院博士課程に進み、その半ばで助手に就任する。その間、犬や猫のアレルギー研究に集中し、現在まで50報以上の論文を輩出する。これらの成果から、世界的会議であるInternational Task Force on Canine Atopic Dermatitisのメンバーに承認される。理化学研究所においても、犬のアレルギーモデルによるスギ花粉治療法の研究に従事し、さらに犬のアレルギーについて知識を深める。その中でノースカロライナ州立大学獣医学部のDr. Olivryとの共同研究を企画・遂行し、米国に短期派遣される。『大学や研究所レベルの検査システムが動物病院で行うことができれば、小動物のアレルギー・免疫に関する学問、診断、治療は必ず進歩する』を信念に一念発起し、理研ベンチャー 動物アレルギー検査株式会社を設立する。